

はじめに

KGSは、大手予備校・医学部専門予備校で教鞭をとる中でその営利優先の姿勢に疑問を感じた2人の講師によって設立された、医学部・難関大学を志望される方を対象とする超少人数制予備校であり、以下の各点を基本方針としております。

・入塾時無選抜

我々は受験生のみなさんの向上への意志を重視するとともに、授業そして綿密な計画をもとにしたKGSの学習システムに絶対の自信を持っておりますので、入塾時の学力テストによる入塾選抜試験は行っておりません。(ただし、状況を把握する目的でテストを行うことはあります)

・1クラス10名程度の超少人数制クラス授業と個別授業の組み合わせ

医学部系の塾・予備校の中には個別指導をメインにすえて終日多くのコマを設定しておられるケースがよく見受けられます。そのため学費も非常に高額となることが多いようですが、KGSはそのような立場はとっておりません。

超少人数制クラス授業の中で講師側が個々の生徒の理解度を逐一チェックし、的確な発問を通じて、深く考え、実践力・思考力を身に付けることを目指します。また、必要に応じてピンポイントで個別授業を組み合わせることで効率的かつ飛躍的な向上が可能となると考えております。

・絶対的な学習時間の確保

授業とその予復習に加えて、学んだ知識を定着させたり苦手分野を克服するための自学の時間は必要不可欠です。

KGSではこれを塾生個々に任せるのではなく、綿密な学習計画に基づく毎日の自習室での学習を徹底することで年間3000時間以上の学習時間を確保しています。

・徹底した個別対応

質問や学習方法・志望校などに関する相談、その他メンタル面でのフォローなどについては十分な時間をかけて対応しております。

授業の進め方

教材は全てプリント教材です。

クラスのレベル設定は前年と同じでも、当然のことながら各自の状況・理解度・志望校は毎年変わります。従ってその時々でやるべきことも毎年違います。

そのような違いにしっかりと対応するために教材は全てプリント教材となります。内容は過去の入試問題から学習効果の高い良問を選びすぐったものとなっており、それらを徹底的に演習解説することで様々な出題パターンへの対応力を身につけます。特に数学については授業で扱う問題だけで年間500問以上という豊富な演習量と本番での答案作成を見据えた丁寧な解説で入試における得点源とすることを目指します。

さらに、多くの予備校の授業とKGSの授業との最大の違いは一方通行の授業ではないという点です。授業中は理解度の確認のため数多く口頭で発問しますので少人数クラスということもあって頻繁に指名されます。そうすることで緊張感を持続することが可能になると同時に自分が発言することで重要ポイントを印象づけ、定着をはかります。

また、KGSでは授業の予復習を授業と同等に重視します。

予習については、まずそれぞれの問題（基本的に1回の授業あたりの予習問題数は6問程度です）を1問につき30分程度独力で取り組み、それで解けない場合は参考書等を用いて更に30分程度考えるよう指導しています。

もちろん解けない問題があるのはやむを得ませんが、自分がどこまでのことができどこからができないのかを知るためにその時点でのベストの答案を作成して授業に臨むことを全員に要求しているのです。

次に復習については、授業で得た知識を定着させるため解説を受けた問題を原則当日中に再度自分で解きなおい、特に重要な問題についてはその後も何度も繰り返し反復するよう指導しています。なぜなら、一度授業を受けただけでその内容を完全に理解し定着させることのできる人は極めて稀であり、大部分の人は時間がたつと記憶が薄れやがて完全に忘れてしまうからです。学習したことを確実に定着させていくことが遠回りのようで実は最も効率的なのです。

例年塾生たちの多くは1コマ90分の授業についてその前後合わせて3～4時間程度の時間を予復習にあてているようです。

授業のレベルについて

KGSでは、通常授業において基礎的な内容の反復練習を行うことは原則としてありません（基礎・標準クラスは除く）。なぜなら、それは授業料をいただいて授業の中で時間を費やして行うべきことではないと考えているからです。

ただし、当然のことながら基礎をないがしろにしてよいと考えているわけではなく、後述の個々の学習計画にきっちりと組み込み、進捗状況を随時確認しておりますので、基礎の定着に関してはむしろ他塾よりもはるかに多くの時間をかけていると言えるでしょう。

したがって、授業の内容は受講生のその時点での到達度を少しだけ上回るレベルに設定しておりますので決して楽ではありません。前述の通り予復習を含め、高密度の内容となっております。

授業内で理解が不十分な場合には質問対応はもちろんのこと、補講や特別講座などにより手厚くフォローしております。

確認テスト等について

受講クラス、科目により異なりますが状況確認のための小テストあるいは課題提出などについては随時課しており、上位クラスにおいては毎週数学の記述問題の添削課題や生物の論述課題、私大医学部クラスにおいては解答スピードを身に付けるため、授業ごとに小問集合の演習を行うなど合格答案をつくるために必要な訓練を日々行っております。

授業の選択について

前記のように、KGSでは1回の授業についてかなりの労力が必要ですのであまり多くの授業を受講すると当然物理的に時間が不足することになります。

授業で扱うことができる問題・内容にはどうしても限りがありますので、授業以外に自分の弱点をうめる作業に要する時間や単語の暗記などの単純作業に要する時間のことを考慮すると授業数を多くすれば良いというものではないということをご理解いただけたらと思います。

また、必要以上に個別授業を受講されることもお勧めしておりません。個別授業のメリットは個々の状況に合わせた授業ができることに尽きますが、逆に自分のペースでやれてしまうからこそ自己満足に陥りがちです。クラス授業の中で切磋琢磨し、お互いに刺激し合うことが向上のための最善の道だと考えております。

以上の理由からKGSでは、可能な限り受講科目を絞り必要最低限の授業数で最大の成果が得られるよう各自の時間割を設定しております。

特別講座について

毎月、第5週目については通常授業を休止し、その時間帯で原則として数学の特別講座を開講します。(年間予定表をご覧ください)

これはその月の通常授業の内容の理解が不足しているところが判断した者に対する補習および希望者を対象とした単元別の弱点補強講座が中心となります。通常授業ではカバーしきれない基礎の部分から丁寧に扱い、入試に向けて不安を一つずつ確実に解消することを目標とする講座です。この講座については塾生の受講料は無料です。

テストゼミ・共通テストトライアルについて

9月以降(理解度によって開講時期は多少変更となる場合があります)は、クラス別の数学テストゼミおよび共通テストトライアルを開講します。

共通テストトライアルは、マークセンス形式の問題を本番と同じ各60分で解答し、自己採点するものです。2次試験の準備をきちんとしていれば共通テストの問題は決して難しくはありません。しかし、特に上位国立大学を目指す場合にはここで失敗することは許されないという厳しさもまた存在するのも事実です。

共通テスト形式特有の(逆にいえば完成式問題でしか通用しない)解法は通常授業や各特別講座の中で扱っていきませんが、それを実践する訓練を積む機会として非常に重要な講座であると考えています。

テストゼミはKGSの授業の中でも毎年受講者が最も多くなる講座の一つです。過去10年以上の全国の国公立大学の入試問題を徹底的に分析し通常授業とも連動させながら合否の決定に大きく関わるであろうレベルの問題を出題・解説します。

解説では単に解くだけでなく、豊富な別解や関連事項を丁寧に示すとともに「本番で減点されない答案」を念頭に記述式答案の作成にあたっての注意事項を細かく確認していきます。

例年この講座で扱う問題の中から本番での的中が頻発しています。

上記の講座については、所定の科目数を受講している塾生については受講料は無料です。

受講料について

別紙コース案内の通り受講コマ数による月謝制ですので受講科目の変更は毎月単位で可能です。ご納入いただく方法は、現金または銀行振り込みのいずれかをご選択いただく形となります。振り込みをご希望のかたにはご入金いただく口座等、別途ご案内いたします。

季節講習について

夏期・冬期にはそれぞれ講習を行います。これらの講習については希望される講座のみ受講していただくこととなります。(昨年度の講座配置表をご覧ください)

自習室の利用について

塾生には各自専用の自習机およびロッカーを貸与します。自習室は年中無休で利用可能で、授業の有無に関わらず毎日午前10:00～午後10:00の時間帯は在席していただくことにしております。(当然食事等の時間は除きます)

上記は最低限の利用時間であり、これ以外の時間帯も利用は可能です。例年ほぼ全ての塾生が1日12時間以上の学習時間を確保しておられます。(遠方の方についてはこの限りではありません)

学習計画の作成について

受講開始後、我々と塾生との相談の上で年間学習計画を作成します。

受験に必要な科目全てについていつまでにどの教材をどの程度まで仕上げるかについてまずは月単位で計画し、それをもとに週間計画・単実計画を作成していただきます。進捗状況は逐次チェックし、修正すべき点がある場合には速やかに対応いたします。計画なくして、合格はあり得ません。常に個々の塾生と話し合いながら修正を加えつつ、入試に向けての万全の準備を進めます。

質問対応について

質問については講師の空き時間であれば随時可能です。授業中などで即対応することができない場合は対応可能な時間を指定し個別に対応します。科目によっては質問対応専用の時間割を設定しており、多くの受講生が積極的に利用しておられます。また、平日は毎日19:00以降に近隣の医学部（名古屋大学・名古屋市立大学・藤田医科大学・愛知医科大学など）に在籍するチューターが待機していますのでその者たちに質問していただくことも可能です。

KGSは小規模な塾ですので、小回りが利く点がメリットです。質問のある方は遠慮なく気軽に申し出て下さい。また、通常授業受講科目以外の科目の質問も当然受け付けます。